

一方半議團宣傳部では朝來會社の不都合を鳴らし争議の起つた所以を説いたものを書きて印刷して町内一般に配布し町民の同情に訴ふる事に努めた。

所有志の本予定

土生町有志は九日午前九時より所役場に會合し如何にかして争議の解決を見んと協議する所あつたが結局その妥協案を見出す能はず更に同夜町役場に再會する事とした。

六月十一日 大阪毎日新聞記事

因島の争議 示威運動で騒ぐ 近く妥協か

大阪鐵工所因島工場に於ける労働争議は八日頃には不穏となり八百名の職工は大デモンストレーションを起し閉鎖中の工場に押寄せ激昂中の警察警官と小競合を爲し双方に負傷者を出し九日三百名の職工は工場發言人を籠めて乱暴を働き十日は午後一時から演説會を開き大に氣勢を揚げた伊藤縣警官

警察部長は語る

現在は既に鎮撫して居るが一時は警官並三名も職工五名もが各輕傷者を出した尚双方幹部の交渉は順調に進められて居るから近く或る妥協案を見付けて妥協成立を見てもあらう。

六月十一日 大阪朝日新聞記事

両工場職工不穏が移執り警察隊と衝突 刀負傷者も出す

二十日以上の争議を繼續してゐる大阪鐵工所因島工場及び三左工場職工二十餘名の半議團は八日示威行列を行つて警官百餘隊及び工場警衛隊と衝突して十数人の負傷者を出し職工数名が檢束されてから不穏なる移執りとなり争議團に於ては警察側の不公平なる處置を憤り十日正午から土生町大正座にて官憲糾弾演説會を開いた。